

## エダマメ 肥料は控えめに

図1 ベッド作り

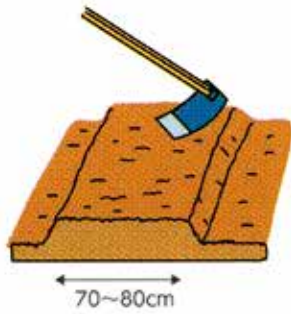


図2 種まき

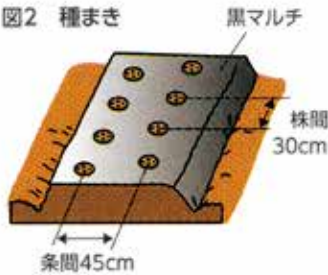


図3 ポット育苗



大豆を未熟のうちに収穫するのがエダマメ。タンパク質、ビタミンA、Cを多く含み、ビールのおつまみとして夏の栄養補給に最適です。

【品質】 一般には早生品種を使い、「おつな姫」(サカタのタネ)、「サツポロミドリ」(雪印種苗)などがあります。風味の良い茶豆では「湯あがり娘」(カネコ種苗)など、黒豆も人気で「濃姫」(タキイ種苗)などがあります。

【畑の準備】 種まき2週間前に1平方m当たり苦土石灰100gを散布し、よく

耕しておきます。1週間前に化成肥料(NPK各成分で10%)100gと堆肥1~2kgを施し、よく混ぜ込んでおきます。その後、畝幅70~80cm、高さ5cm程度の栽培床(ベッド)を作り、黒色のマルチを張ります(図1)。

【種まき】 地温が15度以上になった頃から種まきの適期で、一般地では遅霜の恐れがなくなる4月下旬~5月となり、6月以降では害虫の被害を受けやすくなります。条間45cm2条、株間30cm、1カ所に3~4粒まきます(図2)。鳥害を

防ぎ発芽を良くするために、不織布のベタ掛けが有効です。本葉2枚の頃、生育の劣る株をはさみで根元から切り取り、2本立ちにします。

気温が低い時期や鳥害を避けるためには育苗する方法もあります。この場合、直径7.5~9cmのポットに3~4粒まき、初生葉がそろった頃に間引いて2本残し、本葉2枚頃まで育苗します(図3)。

【病害虫の防除】 高温期にはカメムシ類が発生し、さやに付くと落下します。開花期にスミチオン乳剤、ダ

ントツ水溶剤などの登録農薬で防除します。

【収穫】 さやが膨らんで、指で押さえるとはじけるようになれば収穫期で、開花後から30~35日です。株ごと引き抜いて収穫します。収穫適期は3~5日と短いので、同じ品種なら時期をずらして2~3回に分けて種まきすると、長く収穫を楽しめます。

### 「JA版農業電子図書館を」つかってみよう!!

当JAでは、病害虫や雑草、農業など生産に関する情報が簡単に検索できる、タッチパネル式の情報端末「JA版農業電子図書館」を窓口相談機能の充実と、迅速な指導や最新情報の提供等、組合員サービスの向上を図るため、営農施設に設置しています。

皆様のご利用をお待ちしております。

\*設置店舗：総合営農経済センター  
片貝営農センター  
千田園芸資材センター



病害虫・雑草診断など簡単に操作できます!!  
探したい項目を指でタッチ!!